をとするののにする

（）

（）

（）

　このは、をとするののにする（。「」という。）のにづき、にするにしがにするためになをめるものとする。

（によるをとするの）

　は、をうにたり、（にするをいう。じ。）をとして、（にするをいう。じ。）でないとないをすることにより、のをしてはならない。

２　は、をうにたり、からに（にするをいう。じ。）のをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、の、びのにじて、ののについてかつなをしなければならない。

（におけるをとするのをするための）

　（にあっては、は。じ。）は、にするにし、をとするのをするため、にげるをじなければならない。

　　のをじたにより、そのするのをし、びをとするのにするをめさせること。

　　びそのそののからないびのにするびのしがあったにあっては、やかにをすること。

２　は、をとするにするがじたには、やかに、にしなければならない。

（）

　このにめるもののほか、をとするののにするのにしなは、にめる。

このは、からする。

がいをとするののにする

（）

１　このは、をとするののにする（2565。）７にするについて、をとするののにする（2811。「」という。）にめるもののほか、がにするためになをめるものとする。

（）

２　２にめるないのびのにしてのは、にげるとする。

２　、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（4584）のなびのをまえ、できるだけりむことがまれることをする。

３　３２にめるには、のがされた、するにして、のをにうようすることをむ。

（）

３　が、がいにしないをし、は、ながないにもわらずのをした、そのによっては、のにし、はをったにし、にされることがある。

（の）

４　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするため、に、のとおりをく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールにえ、がいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたは、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のは、にじ、をるようめるものとする。

（・）

５　がいをとするののをるため、にし、な・をうものとする。

２　たにとなったにしては、がいをとするのにするなについてさせるために、また、たにとなったにしては、がいをとするのにしめられるについてさせるために、それぞれ、をする。

３　にし、がいのをさせるとともに、がいへにするためになマニュアルのにより、のをる。

このは、28４１からする。

このは、３４１からする。

がいをとするののにするにる

１　ないのなえ

は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。

ただし、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、がいを、となるはについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

　なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。においては、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びのはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

　は、ながあるとしたには、がいにそのをするものとし、をるようめることがましい。

３　ないの

　ないにたりるはのようなものがえられる。なお、２でしたとおり、ないにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（ないにたりる）

* がいをにをする。
* がいをにのをしにする。
* がいをにの、の、パンフレットのをむ。
* がいをに、シンポジウムへのをむ。
* ・の、にではないにもかかわらず、がいをに、やのにきいのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、きいのをんだりする。

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

　　は、のはの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。

２　は、がいのやのがめられるやにじてなり、かつのいものであり、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、「５　なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとする。

なお、をとするがいがまれる、がいとのがにわたるには、そのののとはに、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、カード、、、のやりサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

また、がいからののみでなく、がいやがい（がいをむ。）によりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

　　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめることがましい。

４　は、がいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

５　なのなえ

　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいにそのをするものとし、をるようめることがましい。

* はへのの（はの、、をなうかか）
* の（・、・の）
* の

６　の

　４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがえられる。

　なお、したについては、５でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（にたりるへのの）

* があるに、にキャスターげのをする、スロープをすなどする。
* のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。
* のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。
* がいのにより、にのがあるに、のをにする。
* をじやすいがいからでののしがあった、のがであったことから、がいにをし、のくにをさせてのスペースをける。
* によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。
* やがした、でのをくことがしいがいにし、きのボードをいて、わかりやすくしをる。

（にたりるのの）

* 、みげ、、、などのコミュニケーションをいる。
* について、、でするに、のでページがなりること、ではがないことにしてする。
* がいのあるにをする、みげソフトにしたデータでする。
* がながいにし、カードをしてをする。
* などで、でうを、にメモをしてす。
* のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。
* がながいにし、や、などをいずにする。
* がいからしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするなどのをにいたメモを、にじてにす。

（ルール・のなの）

* をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。
* ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。
* スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。
* をにいへする。
* との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにじてをする。
* はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

（そののにおけるましいの）

* のみのに、、のするのをき、そのにじて、がいのあるにし、なでのをう。
* のにたり、がいのあるにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。
* ので、にし、はとはページがなり、がないことなどをし、をしたり、したりするには、をみげるなどがいのあるやにしてをうこと、のはをうこと、また、にができるように、ゆっくりと、かつ、はっきりとすることなどをめる。
* のやにたっては、がのがいのにったサポートをう、なでのをう。たとえば、がいのあるにをするとともに、は、がにってサポートをう。また、をするとともに、にができるように、にをする。

（がいガイドラインについて）

　をめけには、「がいガイドライン」にがにたるのか、としてどのようながましいのかなどについてなえやをしているので、されたい。

（におけるについて）

　におけるのやがするでのにしては、『「をとするののにする」について～「ともにび、ともにつ」づくりをめざして～』（）にされているので、されたい。

|  |  |
| --- | --- |
| はの |  |
| びの |  |
|  |  |
|  |  |